

総領事からのメッセージ(第9回)

◎マイアミビーチ市長と表敬懇談

6月6日、神奈川県藤沢市と姉妹都市関係にあるマイアミビーチ市のマティ・バウワー(Matti Herrera Bower)市長にお会いしました。両市の姉妹関係は1959年に始まり、1昨年の50周年記念の際、バウワー市長は藤沢市を訪問されました。慶応大学の湘南キャンパスの美しさ、電気自動車の研究が進んでいたこと、また、市民に特別な色のゴミ袋を市が提供していることなどが印象的であったので、フロリダに戻った後、オバマ大統領に電気自動車導入について進言をしたけれど、残念ながら返事はありませんと愉快地語っておられました。当方から、同市を初めとした都市のごみ回収システムを次回視察されれば、興味深いものとなると助言を申し上げたところ、同市長さんは、ごみ処理は大事であること、藤沢市を是非また訪問したいとの御発言がありました。



◆マイアミ大学(UM)フロースト音楽校バーグ学部長との懇談

6月8日、UMフロースト音楽校シェルトン・バーグ学部長(写真右端)及び同学部ボズナック教授(同、左端)のお二人を公邸にお招きしました。バーグ学部長は、1999年の天皇ご即位10周年の奉祝式典のテーマ音楽をXジャパンの「ヨシキ」と共に作曲し、オーケストラ演奏用に編曲をされた方です。祝典の当日は天皇・皇后両陛下の御側近くで、集まった数万人の日本国民、数千万人のテレビ視聴者とともに祝賀の感動を共有できたことを大変楽しそうに語っておられました。ヨシキさんとは、その後も長くお付き合いをされていること、来春、UM音楽部学生と日本の音大学生とのコラボ演奏による日・欧音楽の公演の機会をここマイアミで出来ないか考えてみたいとの御発言もありました。



■日系企業(ニプロ・ダイアグナシス社)工場訪問

6月9日、マイアミから北に高速道路で1時間の所にあるフォート・ローダーディール市の日系工場を訪問。糖尿病の人が家庭でも手軽に血糖値を測定できるテスター・ストリップ(紙片状のもの)の製造現場を拝見しました。極細の針から少量の血液を採取して同紙に乗せると、

血糖値が 4 秒後にテスターで測定できるこの便利な製品は、大変なハイテク技術を駆使して製造されていることが製造過程を拝見してみて、納得しました。また、誰にでも手に入る製品として患者に届けたいとのニプロ本社の企業経営方針を反映して、徹底的にコスト削減をはかり、販売のための TV コマーシャルを作成していないとの話が、Scott Verner 社長からありましたが、激しい競争の米国市場での市場シェアは毎年着実に伸ばしているとのことでした。南フロリダ製造業協会から、2011 年の最優秀企業として表彰されました。同工場には 350 名の従業員が働いており、地域(プロワード郡)経済へも大きな貢献をしています。



プロワード郡長への表敬・懇談

6月9日午後、日系工場を視察した直後、Gunzburger プロワード郡長(Mayor)にお会いしました。日系工場(NIPRO)を視察したことを当方から申し上げたところ、同郡長からは、日系企業が当郡に進出してもらっているのは大変に名誉であり、有り難いことであるとの発言がありました。

◆尾身幸次 STS フォーラム理事長の当地来訪

6月12日(日)、尾身理事長(元財務大臣)がブラジルからワシントンへの出張途次、マイアミに立ち寄られました。STS(Science and Technology in Society)フォーラムは2004年以降、毎年10月に京都で国際会議として開催され、科学技術におけるダボス会議とも言われるフォーラムです。尾身理事長が主宰される同会議は「科学技術の光と影」という観点から、グローバルな課題について、個人の資格で参加者に活発に討論することが目的で、世界から招待者1千人が参加。その中にはノーベル賞受賞者11人、世界の有名大学学長60人、各国担当大臣、著名財界人等が含まれる由。今年10月開催の会議では、福島原発事故を受けて、原発に関するセッションが新たに会合議題に追加されました。同会議の閉会式には、皇太子殿下が御臨席される予定です。このようなグローバルな問題を討議する国際会議が日本で開催されていることを報じる外国特派員記事が少ないのが課題と語っておられました。

(2011年6月13日記) 在マイアミ日本総領事 川原英一